

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正

第1926回

- ソング 四つのテスト
- ソングリーダー 河井 宏文君



【2011-2012年度 RIテーマ】

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

カルヤン・パネルジー



【バラ】

写真提供：櫻井龍太君

■ 会長報告

青島 彰君

11月13日、藤枝ライオンズクラブチャーターナイト50周年記念式典、懇親会に出席をしました。ライオンズクラブは1917年アメリカシカゴにて元RC会員のメルビン・ジョーンズの提唱により誕生しました。ポール・ハリスがRCを創立した12年後のことです。日本の地区会員は10万9千人、RCが約9万人ですから同様の奉仕団体としては一回り大きいかなとの感じです。RCは地区における会員の入会基準のなかに一業種一名との不文律があったことで会員数に差異が生じたのかなと思われます。ライオンズクラブは自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全を図るとのスローガンをもって行動しています。記念式典は市民会館で行われ、RC会長は来賓として来賓席からの参列でした。

周年事業は蓮華寺池公園の樹木ネームプレート200枚の取付、3奉仕団体へ寄付金贈呈が行われました。また東日本震災支援金として赤十字に200万円を送ったとのこと。ライオンズクラブの奉仕事業には献血、献眼等定期的な継続事業が行われています。

奉仕団体として地域ニーズに応える為には「地域密着」は今後の事業を行ううえでの重要なキーワードとなりそうだと思います。

ここ数ヶ月出席率の低下が顕著です。各々が意識をして例会出席の時間作りをしてほしいと思います。

■ 幹事報告

大塚 博巳君

- 第2620地区より
地区大会会場アクセスについてのお知らせが届いております。
地区大会参加の会員へ再度のお知らせです。
当日は、7:20集/7:30出発/ホテルルートイン駐車場集合です。
- 第2620地区より
国際大会(バンコク開催)ジャパンナイトの案内が届いております。
- 第2620地区より
東日本大震災復興基金受入延長のお知らせが届いております。
- 第2620地区より
ハイライトよねやまが届いております。
- 藤枝明誠高校より
全国大会出場に対する支援の御礼状が届いております。
- 志太ミュージカル公演実行本部より
志太ミュージカルの案内が届いております。
- 藤枝ライオンズクラブ50周年式典の記念誌が届いております。

■ 出席報告

小西 啓一君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
32 / 43 74.42%	31 / 43 72.10%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 石割君 ○酒井君 ○杉浦君 ○玉木君
- 大長君 ○萩田君 ○松葉隆君 落合君

鈴木舜君 仲田晃君 水野君

(2)メイクアップ者

松葉 隆夫君(藤枝南) 河井 宏文君(藤枝南)

大長 昭子君(藤枝南)

■ ビジター

阿部 裕之君(日本平) 澤脇 圭司君(島田)

朝比奈 潔君(藤枝南) 漆畑 雄一郎君(藤枝南)

■ スマイルBOX 小西 啓一君

- はからずも小西さんから叙勲受章のご案内を頂きました。ロータリー会員の光も大であります。ありがとうございました。

島田 R C 澤脇 圭司君

スマイル累計金額 93,830円

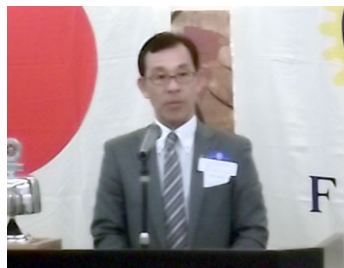
■ ロータリー財団委員会卓話

日本平 RC

財団学友会小委員

小委員長

阿部 裕之君



ロータリー財団

国際親善奨学生

風岡 祐貴様



3月11日の地震と仙台で被災した経験話をしたいと思います。その日は小刻みに揺れ始めたかと思うと揺れは大きくなるばかりで、なかなか収まりませんでした。揺れた時は道を歩いていたのですが、電信柱が左右に大きく動き、窓ガラスが震えていました。家に帰ると、電気やガスは止まっていて、水もしばらくすると出なくなりました。その後は町内会の人と食料を持ちよったり、列に並んで買って炊き出しをしてライフラインが復旧するのを待ちました。その時は考える余裕などなかったのですが、助け合っただけでも不自由な生活に苛立ち衝突する人たちが、冷静な判断が求められているのにデマに惑

わされた自分を思い出し、人間の良いところ、悪いところを一度に見て、今振り返ると一人一人があの場合でどう動くべきか試されていました。そして今度はたぶん被災した経験をどう生かすか試されているのだと思います。今から被災地のためにできることをしたいと思います。

(担当 / 河井君)